



本部レールクラブ・写真部 合同開催



レールクラブ第5回例会

写真部第26回定期総会・第26回撮影会

11月21日～22日、本部レールクラブ・写真部合同で「レールクラブ第5回例会」及び「写真部第26回総会・第26回撮影会」を開催しました。初めてお互



り・悔しさ、未加入者をサークル活動をきっかけにJR東労組の仲間としていくこと、組合員に「一人一サークル運動」を訴え気軽に参加してもらえよう取り組むことが述べられました。レールクラブからも、現状や今後の活動方針について発言いただき、同じ文化系サークルとして今後も連携していくことを確認しました。

5年ぶりとなる「レールクラブ第5回例会」では、福島交通飯坂線の車両基地を見学しました。福島交通の担当者の方から、2016年から導入された1000系電車を目の前に、車両の解説、車両運用などの説明をしていただきました。

その後「コラッセふくしま」に移動し、「写真部第26回総会」を開催しました。目時部長のあいさつでは、年末手当に対し生活実感と黒字転換の努力を評価しない会社に対する怒

り・悔しさ、未加入者をサークル活動をきっかけにJR東労組の仲間としていくこと、組合員に「一人一サークル運動」を訴え気軽に参加してもらえよう取り組むことが述べられました。レールクラブからも、現状や今後の活動方針について発言いただき、同じ文化系サークルとして今後も連携していくことを確認しました。

また、総会終了後には、美世志会の上原さんから講演をいただきました。弾圧から20年。仲間の温かさが励みになったこと、仲間を思いやる実践が組織拡大につながることを学びました。

22日は「第26回撮影会」として、奥羽本線板谷駅付近・峠駅にて、晩秋の奥羽線走る山形新幹線を撮影しました。間もなく引退となるE3系に向かって参加者各々の構図でシャッターを切りました。

11月15日～16日、宮城県多賀城市中央公園で「JR東労組第27回軟式野球大会」を開催しました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となりました。組合員と家族の安全を最優先に、開催時期や場所を考慮し、「みんなが楽しく野球をやろう」という方針で準備を行いました。

8地本から選手、応援、審判、役員の仲間

第27回 JR東労組軟式野球大会

久びさの結集に珍プレー好プレー続出！



ステーションサービス協議会

「第10回定期総会」開催！

12月8日、本部会議室において、ステーションサービス協議会「第10回定期総会」を開催しました。

討論では、11月に新加入を実現した実践的な報告がありまし

職場では多くの課題が山積しています。JR東労組の強化・拡大を目指して、発生している諸課題解決に向けて奮闘することに参加者全員で確認しました。

職場環境と労働条件の向上をめざし、安全・安心を第一に考え、働きやすい職場を実現するために全組合員で取り組んでいくことと、労働組合の重要性を発信し、JR東労組の旗の下に多くの仲間を結集させるため、新卒採用者および未加入者の組織拡大と組織強化の取り組みを全組合員で行うことを満場一致で確認しました。

討論では、11月に新加入を実現した実践的な報告がありまし



2022年度役員（敬称略）

議長	笛木 潤	（大宮駅務管区）
副議長	松本 啓	（横浜駅務管区）
事務長	矢作 正志	（成田駅務管区）
幹事	吉沢 貴之	（八王子駅務管区）

2022年度上期会計監査実施

11月24日、本部会計監査員による2022年度上期会計監査が実施されました。緊縮財政の中、不正の事実はなく、良好に執行・整理されていることが確認されました。

「サービスマネージャーの見直しについて」議事録確認締結！

7月14日に会社から「サービスマネージャーの見直しについて」の提案を受け、各地本・営業部会・関係職場とともに議論してきました。そして2つの申し入れ団体交渉を経て、12月6日に議事録

確認を締結しました。私たちは、サービスマネージャーとして働いている組合員・社員の声聞き、苦勞と努力している現実を把握し、申3号「サービスマネージャーの見直しについて」に関する解

明申し入れ（6項目）および申5号「サービスマネージャーの見直し」に関する申し入れ（10項目）の団体交渉をつくり出してきました。

「サービスマネージャーの見直し」は駅のサービスレベル向上に大きな役割を果たしてきたこと「解消後もサービスマネージャーが行ってきた業務内容を迅速・的確・丁寧の実施できる駅の運営体制、必要な要員を配置すること」「サービスマネージャーを担っている組合員の希望把握やワークライフバランスの実現に努めること」などを確認しま

した。2023年6月末までにサービスマネージャーを解消していくにあたり、今後各地方において議論していくこととなります。必要な要員の配置や体制の構築、教育・訓練、営業職場におけるキャリアビジョンなどを含め、職場実態を踏まえた議論をつくっていくましよう。